



平成 30 年 11 月 13 日

各 位

会 社 名 株式会社 宮崎太陽銀行
代表者名 取締役頭取 林田 洋二
(コード番号 8560 福証)
問合せ先 上席執行役員総合企画部長 野村 公治
(TEL 0985-24-2111)

(訂正)「平成 31 年 3 月期 第 2 四半期 (中間期) 決算短信[日本基準] (連結)」の
一部訂正に関するお知らせ

当行が平成 30 年 11 月 9 日に公表いたしました「平成 31 年 3 月期 第 2 四半期 (中間期) 決算短信[日本基準] (連結)」の決算説明資料について、一部訂正すべき事項がありましたので、下記のとおり訂正いたします。

記

【訂正箇所】

平成 31 年 3 月期第 2 四半期 (中間期) 決算説明資料 2 頁

※該当する頁 (訂正前、訂正後) は別紙のとおりでございます。

なお、訂正箇所には下線 を付しております。

（訂正前）【連結】

＜連結損益計算書ベース＞

（単位：百万円）

	30年中間期		29年中間期
		29年中間期比	
連結粗利益	4,572	△ 363	4,935
資金利益	4,579	△ 341	4,920
役務取引等利益	△ 78	△ 23	△ 55
その他業務利益	70	0	70
営業経費(△)	3,922	117	3,805
貸倒償却引当費用(△)	1	△ 121	122
貸出金償却(△)	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額(△)	△ 88	△ 59	△ 29
一般貸倒引当金繰入額(△)	89	△ 63	152
偶発損失引当金繰入額(△)	—	—	—
延滞債権等売却損(△)	—	—	—
株式等関係損益	—	△ 359	359
持分法による投資損益	—	—	—
その他	682	774	△ 92
経常利益	1,331	58	1,273
特別損益	△ 9	△ 118	109
税金等調整前当期純利益	1,322	△ 61	1,383
法人税、住民税及び事業税(△)	95	△ 211	306
法人税等調整額(△)	272	614	△ 342
非支配株主に帰属する利益(△)	37	△ 13	50
親会社株主に帰属する純利益	917	△ 451	1,368

（注）連結粗利益＝（資金運用収益－資金運用費用）＋（役務取引等収益－役務取引等費用）
 ＋（特定取引収益－特定取引費用）＋（その他業務収益－その他業務費用）

（連結業務純益）

（単位：百万円）

	30年中間期		29年中間期
		29年中間期比	
連結業務純益	467	△ 461	928

（注）連結業務純益＝単体業務純益＋子会社経常利益－内部取引

（連結対象会社数）

（単位：社）

	30年中間期		29年中間期
		29年中間期比	
連結子会社数	2	0	2
持分法適用会社数	0	0	0

（訂正後）【連結】

＜連結損益計算書ベース＞

（単位：百万円）

	30年中間期		29年中間期
		29年中間期比	
連結粗利益	4,572	△ 363	4,935
資金利益	4,579	△ 341	4,920
役務取引等利益	△ 78	△ 23	△ 55
その他業務利益	70	0	70
営業経費(△)	3,922	117	3,805
貸倒償却引当費用(△)	1	△ 121	122
貸出金償却(△)	—	—	—
個別貸倒引当金繰入額(△)	△ 88	△ 59	△ 29
一般貸倒引当金繰入額(△)	89	△ 63	152
偶発損失引当金繰入額(△)	—	—	—
延滞債権等売却損(△)	—	—	—
株式等関係損益	629	270	359
持分法による投資損益	—	—	—
その他	53	145	△ 92
経常利益	1,331	58	1,273
特別損益	△ 9	△ 118	109
税金等調整前当期純利益	1,322	△ 61	1,383
法人税、住民税及び事業税(△)	95	△ 211	306
法人税等調整額(△)	272	614	△ 342
非支配株主に帰属する利益(△)	37	△ 13	50
親会社株主に帰属する純利益	917	△ 451	1,368

（注）連結粗利益＝（資金運用収益－資金運用費用）＋（役務取引等収益－役務取引等費用）
 ＋（特定取引収益－特定取引費用）＋（その他業務収益－その他業務費用）

（連結業務純益）

（単位：百万円）

	30年中間期		29年中間期
		29年中間期比	
連結業務純益	467	△ 461	928

（注）連結業務純益＝単体業務純益＋子会社経常利益－内部取引

（連結対象会社数）

（単位：社）

	30年中間期		29年中間期
		29年中間期比	
連結子会社数	2	0	2
持分法適用会社数	0	0	0

以上